

# 平成29年度 学校関係者評価報告書

学校名：名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校

## 1 学校目標

- ・本学園の建学の精神である、社会から喜ばれる知識と技術を持ち、歓迎される人柄を兼ね備えた人材を育成し、科学技術・文化の発展に貢献する。
- ・知識・技術といった学生個々の能力を引き上げると共に、品格とホスピタリティ精神を兼ね備えた魅力ある人材を育成する。
- ・「夢をかたちに」を実現する。

### 学校目標に対する評価・意見

- ・各評価項目に対する自己評価は真摯に、かつ丁寧になされている。取り組みも具体的で、効果を上げている様子が伺える。
- ・毎年「就職率100%」という結果は高く評価できる。人柄に対する教育・知識・技術・態度を養い、第一線で活躍できる人材の育成に努めていただきたい。
- ・施設・設備について、学生が安心・安全な環境で十分に学べるよう、随時改善していただきたい。

## 2 学校自己評価報告書について

学校自己評価報告書基準	学校自己評価報告書についての評価点の平均（4段階で評価）		
	自己評価の結果が適切か	改善に向けた取組みが適切か	今後の改善方策が適切か
基準1（教育理念・目標）	4	4	3.8
基準2（学校運営）	4	3.8	3.8
基準3（教育活動）	4	4	3.7
基準4（学修成果）	4	3.9	4
基準5（学生支援）	3.8	3.5	3.6
基準6（教育環境）	3.9	4	3.9
基準7（学生の受入れ募集）	4	4	3.9
基準8（財務）	3.9	4	4
基準9（法令等の遵守）	3.9	3.9	4
基準10（社会貢献・地域貢献）	3.9	3.8	3.7
基準11（国際交流）	3.8	3.8	3.8

## 3 今後の改善意見

- ・学生主体の行事準備が多く、資格取得等試験勉強の時間が取れなくなっている様に思う。
- ・ボランティア活動、地域に対する公開講座等を活性化させることは、教育理念の周知に貢献する。国際交流の進展は、学生の意識や学校の環境に良い変化をもたらし、学校としての国際貢献度・知名度も向上する。
- ・エアラインの専門性を養うべく、エアラインの就航路線や旅客流動など把握できる地理（観光）や異文化理解等の知識付与も期待したい。
- ・教育は常に変化している為、教員も学生に合わせた指導方法を身につけ、退学率低減の為にも原因を追究・改善し、4%以下を目指していただきたい。

## 4 今後の具体的な改善方策

- ・学生自ら進んで主体的に動くということを教育目標の一つにしているため学校行事などもその目的達成のために活用しているが、資格取得等の勉強時間確保に影響がないように各担任には各クラス学生の状況把握及び、適切な指導等を周知徹底したい。
- ・専門的能力の向上を目的に専門性の高い実務経験者を講師として配置したり、実際の実務で必要な最新の知識・技術等を身につけるために、企業と連携した企業内研修（インターンシップ）や実習などを今後も積極的に授業内容に取り入れていきたい。